

令和2年3月定例会
宇土市教育委員会会議録

宇土市教育委員会

1. 日 時 令和2年3月10日(火) 午前9時30分開議

2. 場 所 宇土市教育委員会2階会議室

3. 出席委員 太田 耕幸教育長 近藤 修教育長代理 園田 寛子委員
芥川 学委員 白井 正晴委員

4. 欠席委員 なし

5. 職務のために出席した者

教育部長 宮田 裕三 学校教育課長 田尻 清孝
指導主事 太田黒 保宏 学校教育課課長補佐 岩崎 広美
生涯活動推進課長 湯野 淳也 文化課長 野田 恵美
図書館長 舟田 武弘 給食センター所長 藤本 勲
中央公民館長 久多見 さとみ



議事日程

- 1 会議録署名委員の指名
- 2 会期の決定
- 3 議案第13号 専決処分の報告及び承認を求めることについて
 専決第1号 花園幼稚園改築工事(本体工事)請負契約の変更契約の締結について
- 議案第14号 宇土市学校教育指導員設置規則を廃止する規則について
- 議案第15号 宇土市特別支援教育相談員設置規則を廃止する規則について
- 議案第16号 宇土市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則について
- 議案第17号 特別支援学級への就学及び転籍について
- 議案第18号 令和2年度宇土市立学校内科医, 眼科医, 耳鼻科医, 歯科医及び薬剤師の委嘱について薬剤師の委嘱について
- 議案第19号 令和2年度学校産業医の委嘱について
- 議案第20号 宇土市重要遺跡保存活用検討委員会委員の委嘱について
- 議案第21号 宇土市文化財保護審議会委員の委嘱について
- 議案第22号 宇土市網田焼の里資料館運営委員会委員の委嘱について
- 議案第23号 史跡宇土城跡保存整備検討委員会委員の委嘱について
- 議案第24号 令和2年度宇土市一般会計予算について
- 議案第25号 令和2年度宇土市入学準備祝金給付基金特別会計予算について
- 議案第26号 宇土市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について

報告事項



太田教育長 令和2年3月教育委員会定例会会議を開会いたします。
本日は、4人の委員全員が出席でありますので、この会議は成立
いたします。



日程第1

太田教育長 本日の会議録署名委員の指名をいたします。
会議録署名委員に近藤委員・芥川委員を指名いたします。



日程第2

太田教育長 本日の3月教育委員会定例会の会期を1日とします。
御異議ございませんか。
(「異議なし」と呼ぶ者あり)

太田教育長 異議ないものと認めます。

太田教育長 本日は、追加議案を含めて、議案14件となっております。



日程第3

太田教育長 議案第13号を議題といたします。本案について、学校教育課長
から説明願います。

学校教育課長 (提案理由説明)

(質疑なし)

《採決》(原案のとおり)



太田教育長 議案第14号を議題といたします。本案について、学校教育課長
から説明願います。

学校教育課長 (提案理由説明)

(質疑なし)

《採決》(原案のとおり)



太田教育長 議案第15号を議題といたします。本案について、学校教育課長
から説明願います。

学校教育課長 (提案理由説明)

太田教育長

議案第20号から議案第23号を議題といたします。本案について、文化課長から説明願います。

文化課長
(質疑なし)

(提案理由説明)

《採決》(原案のとおり)



太田教育長

議案第24号を議題といたします。本案について、学校教育課長から順次説明願います。

(提案理由説明)

学校教育課長→生涯活動推進課長→文化課長→図書館長→給食センター所長→中央公民館長

園田委員
田尻課長

この予算はいつの議会に出すのか。また、いつ決定するのか。
3月議会に提出し、12日の常任委員会で審議し、最終日の18日に決定される。

園田委員
田尻課長
園田委員

今年度中に決定するのか。
今年度中に決まる。
生涯活動推進課の婦人会の補助金を30万円増額してあり、ありがたいと思う。しかし、婦人会の会議等に行ったとき、会員数の減少で、存続するのかという話が出た。婦人会の人数が多いと言われたが、把握はしているのか。

湯野課長

7地区のうち、緑川地区は婦人会がなく、6地区の婦人会があり、毎年減少しているが、平成30年度では、1982人の会員がいる。八代市は会員1800人に対して150万円、宇城市は会員700人に対して120万から130万円、上天草市は会員1400人に対して140万円、天草市は会員1800人に対して200万円の補助を計上しており、他の市町と比較しても、宇土市は20万円と活動費にしては、かなり少ない。その点からも、増額した。

園田委員

若い人はやめたいという話を聞く。色々な活動をするため、外出が多い。補助金が増額されることはありがたいと思う。

太田教育長

これまでに、少ない補助金で活動をされている。婦人会の方には教育委員会の行事等でもお世話になっている。他市の状況も踏まえて増額した。

園田委員

聖火リレーは90万円計上しているが、現在のところ聖火リレーはある予定なのか。

湯野課長 90万円は補助対象にならない部分を計上した。実際には、何千万円もかかる。その分は熊本県の実行委員会で支出される。ある予定で計上している。

白井委員 婦人会については、補助金と地区の負担金から成り立っている。会員は任意であるので、会員にならない人が増えて、高齢化している。自分の地区では、婦人会の継続が審議対象となって、継続しないこととなった。地区の行事等は、地区全員で参加することになった。会員数が減っていることを、幹部の方が問題にされている。活動のスリム化を考えてはどうか。一部の人だけ負担がかかるのはどうかと思う。学校用牛乳保冷庫購入は、9庫なのか、9校なのか。給食センターの調理員や配送は委託業者なのか。

藤本所長 学校用の保冷庫で9個である。調理員等は委託業者である。

白井委員 ICTについて、1億円ほど計上してあり、環境整備はされるが、利活用がうまくいくのか。宇土市はパソコンの授業数が何時間するというのを位置つけられている。これから、色々な授業でのパソコンの使用も増えてくる。教員の支援や指導についての予算が計上されていない。

田尻課長 現在は地域おこし協力隊を支援員として活用している。本稼働した場合、1人で全校の支援を行うことは難しいと思われる。来年度以降、検討していかなければと思う。今回の予算もタブレットの台数は多くない。来年度は385台購入予定である。この後、2年間で、1人1台になるようにしていく。補正予算等で増額する予定である。校務支援ソフトと学習支援ソフトが来年度から入るため、その説明会を3月19日と4月2日に行う予定である。その後、先生方の不安があれば、3回目の説明会を行う予定である。

白井委員 支援員が現在は1人であり、増やす必要があるということであったが、宇城市はICTの利活用をベネッセと連携してベネッセの職員がICTの支援を行うということであった。それは、無償でされると思う。なぜなら、益城町はシステムを使用するにあたって、アドバイザー等をIBMが全面的にバックアップし、すべて無償であった。その辺の活用をしてはどうか。先生方の不安も一気に解消できる。

太田黒指導主事 校務支援ソフトはスズキのソフトを使用する。研修もスズキの職員が入り、5年間で5回の契約である。令和2年度、3年度と行う。学校に出向いての研修は1校当たり10万円かかるということで、教育委員会での開催となった。

芥川委員 会計年度任用職員は期末手当等があり、待遇がよくなることはい

宮田部長 いことである。それに伴って業務内容が大幅に増えるのか。
現在の非常勤職員と違い、会計年度任用職員として待遇が良くなる。正職員の負担軽減を図るため、若干業務の見直しもある。会計年度任用職員という自覚を持ってもらうよう、正職員と同様にミーティング等の参加など、補助業務のみではないということ、また異動も伴い、より責任を持って職に取り組んでもらうこととなる。

白井委員 図書館や公民館など、会計年度任用職員でも色々と職が違う。それぞれの職ごとの要綱を定めてあるのか。県では2月に総務部長を通じて、任用についての要綱をそれぞれの職ごとに、作成されていた。今までと違うところが明確に分かる。名称だけ、会計年度任用職員にするのではなく、はっきりと職を示さないといけない。県の臨採職員は、勤務内容を説明しなければならなくなった。会計年度任用職員についても、職務を文書で説明しなければいけなくなった。用意はされているのか。

宮田部長 3月末に説明会をする予定であった。コロナウィルス感染症対策で中止になった。要綱はできていないが、各課で制度についての周知や業務内容については、明確にし、説明する。

白井委員 用務員等は大まかな業務と学校長に順ずるという内容でいいと思う。勤務時間は何時から何時までの間、学校長が割り振るとしていけば、学校側も助かる。

芥川委員 今までも、それぞれの職ごとの通知はあった。それを校長が説明していた。それが、今後は少し変わる形で説明するのか。

太田教育長 自分が校長であったときも、芥川委員と同様に、それぞれの職ごとに説明をしていた。用務員については、学校の規模や環境によって、仕事内容も違ってくるため、通知内容の他にお願いすることを確認していた。職の内容については、それぞれの学校に応じて、会計年度任用職員に説明すべきである。

白井委員 会計年度任用職員については、給与面も変わるが、人事評価も加わってくる。それも説明しないといけない。

近藤委員 子ども議会は、今年度から子どもサミットに変更されている。来年度の予算も子ども議会のままでいいのか。

田尻課長 当初から子ども議会として行っており、今年度は子どもサミットとして開催したが、数年に1度は議会形式での開催も行う。事業名は子ども議会のままでいいと思う。

近藤委員 いじめ防止対策の名称について、いじめ防止等対策委員会を設置しているので、委員会を入れた方がいいのではないか。

田尻課長 入れた方がいいと思う。次年度で変更する。

白井委員

うという事業の見直しを行うことも必要であると思う。

多くの先生方へ指導員が指導していた。少なくなるということは、限られた時間であるため、指導してもらう先生と指導してもらわない先生が出てくる。指導が必要な先生は指導してほしい。目に見えないところで差が出てくる。教育力を上げることは、かなりの時間と労力を要する。山鹿の研修センターに要請を出したことがあり、見学に行ったところ、4人の先生方に対して1対1で、1年間密に指導していた。何回か見に行ったが、かなり厳しい。学校を回る人を支える人が増えると考えていいのか。指導室ができて、何が拡充されるのか。何が良くなるのか。

太田黒指導主事

学校に行ってもらって1人の指導員は、40歳までと教職10年まで、また、学校からの要請や本人が指導力向上を図りたいので、授業を見に来てもらいたいという先生について指導してもらおう。自分が学校訪問等に行っていたが、3年未満の教員を見回ることができなかった。次年度は、6年目までの先生方の指導力をしっかりつけて、教職を全うしてほしいと思っている。特に3年未満の先生方は気を付けて見ていきたいと思っている。学校と委員会のつなぎの部分である学校教育指導員の先生に学校を回ってもらい、校長先生方の思いを聞きながら、学校の相談業務も行ってもらおう。特別支援教育の子ども達やその他、対応しなければいけない子ども達が増えている。学級編成、就学や転籍の手続きもかなり多いため、そういうところも指導していただくようにしている。常勤とは違い、短い時間での勤務となるため、指導員の先生と話し合いながら、業務を決めていきたい。

太田教育長

授業を見る指導員が2人から1人に変更されるため、授業を見る回数は減る。その分、1人の指導員が学校の相談を受け、指導主事が全部請け負っているところが分担できる。また、指導主事は、教頭から来ているため、校長でないとは分からない業務もあり、その助言等もできる。校長会からの相談を受けるなど、幅広い対応ができる。授業を回る回数が減る分は、校長先生から指導してもらおう部分も出てくると思う。指導員には、若い先生方を中心に授業を回ってもらおう。

近藤委員

今までの、指導員の位置づけが曖昧であったため、規則の中で位置づけを行った。また、指導室の長を指導主事になることで、自分は激務であると思う、これまでの指導主事の業務が、1部指導員の先生に割り振ることにより、組織的に運用しやすくなるということか。

指導主事

そうである。

